



ほけんだより

文責 看護師 宮原博子
H28.12.5

いよいよ年の瀬！ 年末までに片付けたい家事やお仕事に追われて、なにかとあわただしい毎日をすごされているかと思います。子ども達が心待ちにしているクリスマスやお正月もありますので、保護者の方々はくれぐれも事故などには気をつけて思い出いっぱいの年末年始をお過ごしくださいね☆



ノロウイルスに要注意

冬場に増えるノロウイルスは、通常10月～2月頃まで感染のシーズンが続きます。感染すると激しい下痢や嘔吐、腹痛があり発熱も伴います。治療薬がないため、症状が出たら水分を補給しながら回復を待つしかありません。



溶連菌感染症ってなあに？

サイン

- ・突然の発熱とのどの痛み
 - ・嘔吐や腹痛を伴うこともあります
 - ・舌のポツポツが大きく赤くなったり、細かい発疹が出たりします。
- ※3歳以下の乳児では熱も発疹もなく、のどの赤みと痛みしか症状がでない事も多いです。



診断

小児科の迅速診断キット

治療

抗菌薬内服

登園のめやす

抗菌薬内服後24時間～48時間経過していること

処方された抗菌薬はすべて飲みきる事が大切です。服用を中断してしまうと、再発することがあり、急性腎炎やリウマチ熱に至るおそれがあります。



こども用イオン飲料や湯冷ましを少しずつこまめに与える

おしりはこすらずにお湯で洗いタオルで軽く押さえて水分を拭き取る

感染性胃腸炎と診断された場合は「登園届」の提出が必要です。登園できそうな状態になったら医師に確認され登園をお願いします。

11月の感染症&内服状況

ひかり	投薬回数	24回	アデノウイルス感染症1名、感染性胃腸炎1名
にじ	投薬回数	31回	
そよかぜ	投薬回数	38回	
以上児	投薬回数	60回	RSウイルス1名、流行性耳下腺炎2名、感染性胃腸炎1名 溶連菌感染症3名

11月に入り寒さが増したと同時に風邪症状が悪化した子どもが目立ちました。体が弱っている時には他の病気をもらいやすくなってしまいます。いつもと様子が違うな～という時には、早めの受診と休養を心がけましょう！